

③

<sup>わたべ</sup>渡部一郎訳『陸軍士官必携』全5冊 慶応3年(1867)刊

幕府開成所の英語教員であった渡部一郎が翻訳したイギリスの戦術書で、「和歌山藩秘書寮」の蔵書印が押されています。

「和歌山藩秘書寮」とは、梧陵が責任者（知事）を務めた藩校学習館内に設置された部門です。

梧陵の下での改革により、学習館は士族以外の者も入学できることとなりました。また、学習館の成績優秀者が秘書寮に入り、藩の官吏に登用される道が開かれました。